



“ 吉祥寺にはクリエイターを呼び寄せる パワースポットがあるのかも ”

木原庸佐さん
イラストレーター



木原庸佐(きはら・ようすけ)

早稲田大学政治経済学部卒業。
イラスト、キャラクターデザイン、漫画、音楽活動などを幅広く手掛ける。1994年から放映されたテレビ番組『ボンキーズ』内の「ゴー!ゴー! コニーちゃん!」が人気を博す。ゲームソフト「ケロケロキング」、ウクレレによるあみぐるみデュオ「U900」も話題に。2018年、ウルトラ怪獣を子ども向けにリメイクした絵本「かいじゅうステップ」を制作、『かいじゅうステップ ワンダバダ』としてアニメ化された。

生まれ育ったのは武蔵野市に隣接する練馬区にある南大泉です。物心つく頃から、遊びに行くとするれば吉祥寺。動物が好きだったので親と一緒に井の頭自然文化園によく行っていました。子どもの頃から絵を描くのは好きでしたが、高校生になるとロックにハマって、吉祥寺本町に当時あったロック喫茶「赤毛とそばかす」でロックの勉強にいそしんだりするように、その頃から絵とロックが、いつも僕の真ん中にありました。大学を卒業して一人暮らしを始める時、住む場所は吉祥寺以外あり得ませんでした。画材店、書店、映画館、レコード店、楽器店があつて、さらに動物園まであるまちはなかなかないですよ。それ以来、40年近く吉祥寺在住です。

2015年から吉祥寺東町の「リベストギャラリー創」で、漫画家やイラストレーター、ミュージシャンによるレコードジャケットをモチーフにした作品展「キチレコ(吉祥寺レコード)」を始めました。同じ場所で行った「キハラフェス」という絵と音楽のイベントも開催しています。きっかけは、2011年、このギャラリーで吉祥寺在住の漫画家・江口寿史さんを中心に行われたクリエイターによるTシャツ展「30T(サーティー)」に参加したことでした。最近、全国の美術館が漫画家の展覧会を開催していますが、これがその先駆けだったんじゃないかな。吉祥寺にはクリエイティブな人が多く住んでいて、僕は、まちのどこかにそうした人を呼び寄せる創造力が湧き出るパワースポットがあるんじゃないかとにらんでいるんです。それが一体どこなのかは、まだ突き止めていませんが…。誰か知っている人がいたらコッソリ教えてください(笑)